

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4年
教科等名	理科		教育課程	C (準ずる)
ねらい	<p>(知・技) 空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表) 空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。</p> <p>(主) 空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	担任： 佐藤 匠 多島 康美			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	新編 新しい理科4 (東京書籍)			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	あたたかくなると、  動物のからだのつくりと運動	35	○生き物の観察、花・野菜苗植物を育てる。  ◆動物・植物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることに気付く。  ○体のつくり、体が動くしくみ ◆ヒトが体を動かすことができるのは、骨、筋肉のはたらきによることを理解することができる。	・観察は、形、色、大きさに着目して行うようにする。 ・生活経験やこれまでの学習から思い出し、1日の気温の変化と結びつけるようにする。
5	天気と気温  電気のはたらき		○1日の気温の変化 ◆天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解する。  ○かん電池のはたらき、かん電池とつなぎ方 ◆乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。	・体の動きのようすを動画撮影しておき確認する ・骨や筋肉の模型を用意し見て理解できるようにする。 ・異なる2つの回路を用意し、違いを比較できるようにする。
6	雨水のゆくえと地面のようす		○水の流れとかたむき、水のしみこみ方と土 ◆水の流れ方やしみこみ方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関係づけて考えることができる。	・水の流れを土などを利用し再現する。

7	暑くなると 夏の夜空	45	○生き物の観察、植物を育てる ◆動物・植物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることに気付く。 ○夏の夜空 ◆方位磁針や星座早見などを正しく使って、星や星座を観察できる。	・夏のころの植物や動物の写真を提示し比較できるようにする ・夏の夜空の写真や動画を用意する。
	月や星の見え方		○月・星の位置 ◆月や星の位置の変化について理解できる。	・異なる時間の夜空の写真や動画を用意し、考えをまとめる。
9	涼しくなると		○生き物の観察、植物を育てる ◆動物・植物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることに気付く。	・秋のころの植物や動物の写真を提示し比較できるようにする。
10	とじこめた空気や水		○とじこめた空気・水のせいしつ ◆閉じ込めた空気や水の性質について比較して考えることができる。	・注射器を用いて違いを体感できるようにする。
11	ものの体積と温度		○空気・水・金属の温度と体積 ◆空気・水・金属は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。	・実験の初めと終わりの写真を撮り、比較できるようにする。
12	もののあたたまり方	○金属・水・空気のあたたまり方 ◆金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想することができる	・示温シールや示温インクを用いて視覚的に示す。 ・気体・液体・固体の概念を動画などで理解できるようにする。	
1	冬の夜空 寒くなると	25	○冬の夜空 ◆方位磁針や星座早見などを正しく使って、星や星座を観察できる。 ○生き物の観察、植物を育てる ◆動物・植物の活動は暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることに気付く。	・対照実験などで比較できるようにする。 ・これまでの観察記録を見直し、季節や気温に着目できるように支援する。
2	水のすがたと温度		○水を熱したとき水を冷やしたときの変化 ◆水は、温度によって水蒸気や氷に変わること、また、水が氷になると体積が増えることを理解することができる。	・実験の初めと終わりの写真を撮り、比較できるようにする。
3	生き物の1年間をふり返って		○生き物の観察、植物を育てる ◆動物・植物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることに気付く。	

・春のころの植物や動物の写真を提示し比較できるようにする。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年	
教科等名	外国語活動	教育課程	C (準ずる)	
ねらい	(知・技)外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 (思・判・表) 外国語で自分の考えや伝え合う力の素地を養う。 (主) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。			
担当教員	教員：多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	学習指導要領対応 小学校外国語活動教材 Let 's Try 文部科学省			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	Hello, world! 世界のいろいろなことばであ いさつをしよう	1 2	○挨拶、自己紹介、状態、気持 ち、色、数 (1 ~ 30) ◆さまざまな挨拶の仕方があることに気 付くとともに、さまざまな挨拶の言い方 に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎時間決まったフレーズを用いて、英語活動の始まりを感じられるようにする。</li> <li>・ 歌やカードゲームを通して、繰り返し英語表現に触れる。</li> <li>・ 質問し合う活動を通して、英語でのコミュニケーションの良さを感 じられるようにする。</li> </ul>
5	Let's play cards. すきな遊びを		○挨拶、自己紹介、状態、気持ち、色、身 体の状態 ◆好きな遊びについて尋ねたり答えたり して伝え合う。	
6	つたえよう			
7	I like Mondays. す きな曜日は 何かな?		○挨拶、飲食物、スポーツ、遊び ◆自分の好きな曜日について、尋ねたり答 えたりして伝え合う。	
9	What time is it? 今、何時?	1 5	○挨拶、数 (1-60), 曜日, スポーツ, 遊 び ◆自分の好きな時間について、尋ねたり答 えたりして伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な題材を扱い、視覚教材を用 いるなどして、興味をもって取り 組めるようにする。</li> <li>・ CD などで歌や音 声を聞くなどし て、オリジナルの 発音にふれられ るようにする。</li> <li>・ 身体を動かした りゲームを取り 入れたりして、楽 しく学べるよう にする。</li> <li>・ 担任以外の教員 とも連携して、い ろいろな人との やり取りの機会 がもてるように する。</li> </ul>
10	Do you have apen? おすすめ の文房具セット をつくろう		○挨拶、状態・気持ち、形、色、スポーツ、 動物、飲食物、数、身の回りの物、数 (1 -60) ◆文房具など学校で使う物について、尋ね たり答えたりして伝え合う。	
11	Alphabet アルフ ァベットで文字 遊びをしよう		○数 (1-60), 大文字 (A-Z), 身の回り の物など ◆身の回りにあるアルファベットの文字 クイズを出したり答えたりする。	
12	What do you want? ほしいも のは何かな?		○果物・野菜、飲食物、数 (1-60) ◆食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり 要求したりする表現に慣れ親しむ。	
1	This is my favorite place. お気に入り の場所をしょ うかいしよう	8	○挨拶、曜日、スポーツ、 ◆自分が気に入っている校内の場所に案 内したり、その場所について伝え合っ たりする。	

2	This is my day. ぼく・わたしの 一日		○挨拶, 日課, 状態・気持ち, 動作, 教科, ◆日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き, 日課を表す表現に慣れ親しむ。	・外国人講師による授業の機会を活用する。
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門小学部		学 年	4、5年
教科等名	図画工作		学習グループ(教育課程)	(準ずる)
ねらい	【準ずる】 (知・技)形や色、方法や材料を知って、工夫することができる。 (思・判・表)造形活動を通して、感じたことや想像したことを表現できる。 (主)自分の思いや想像したイメージを膨らませ、造形活動を楽しむことができる。			
担当教員	教員： 佐藤 匠 多島 康美			
年間授業時数	50単位時間			
使用教科書	図画工作3・4上下 開隆堂			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	季節を感じて	4	○筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ◆描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	・彩飾道具は児童の実態に応じて、持ち手などを工夫する。
5	消防写生会	2	○消防車の写生 ◆消防車の特徴を捉えて描く。	・書き終わらない児童は、動画・写真を見ながら描く時間を設ける。
6	線から生まれた私の世界	6	○線状の紙を組み合わせる ◆身近な材料や道具を使って、手指の動かし方を工夫する。	・素材を扱いやすい大きさにするなど活動しやすくする。
7	風に揺られて	6	○風に揺れるオブジェ作り ◆飾り付けを工夫して作る。ハサミやカッター等で制作する。	・イメージを広げるため動画なども活用する。 ・安全な使い方を指導する。
9	地球まるごと宝箱	6	○古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。 ◆材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。	・質感の異なる素材を用意し、表現の違いを意識できるようにする。
10	光サンドイッチ	6	○色セロハンなどを使い、光を通すときれいな飾りをつくる。 ◆光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	・組み合わせしやすいうような複数の色を準備する。
11	学校マスコット	8	○粘土と布など他の素材を組み合わせる人形を作る。 ◆粘土と他の素材を組み合わせるなどして、立体的な表し方を工夫する。	・素材を数種類用意して、選択できるようにする。
12	冬の飾り作り	4	○冬の季節の飾りを作る。 ◆いろいろな道具や材料を工夫して作る。	・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。
1	ウッドクラフト	4	○ウッドチップを使って材料を、自分のイメージした建物や家具などの形に見立てて作る。 ◆イメージしたものの特徴を知り、飾り付けを工夫して作る。ハサミやカッター等で制作する。	・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。
2	飛び出すカード	4	○友達や家族に伝える飛び出すカードをつくり、気持ちを伝える。 ◆飛び出す仕組みを生かし、表し方を工夫する。	・イメージサンプルを分かりやすく提示する。
3				

※児童の学習の習得状況に応じ学習内容の精選や進度の調整を行います。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4、5年
教科等名	音楽		学習グループ（教育課程）	C（準ずる）
ねらい	<p>（知・技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>（思・判・表）音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>（主）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p>			
担当教員	教員：多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数	4年：60単位時間 4年：50単位時間			
使用教科書	小学生の音楽4（教育芸術社） 小学生の音楽5（教育芸術社）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	リズムで表現しよう ①リトミックをしよう	4年 5年 20 17	○表現：手拍子でリズム、リズムで仲良くなるろう ラドレの音でせんりつ作り等 ○鑑賞：トルコ行進曲、メヌエット、神田ばやし トランペット吹きの休日等 ○楽器演奏：キーボード、打楽器等 ◆曲に合わせて身体を動かす楽しさを知り、曲の速さや雰囲気を感じ取りながら動きを変えたり、どう動くか考えたりすることができる。 ◆歌詞の意味を理解したり、作者について知ったりすることで、曲に込められた思いを感じながら、聴くことができる。 ◆音符の簡単な読み方が分かり、演奏することができる。	・身体表現などで曲の雰囲気を感じ取れるようにする ・歌詞のある曲は、拡大した歌詞カードを用意し、確認しながら進められるようにする ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える（リズム、速さ、楽器の違いなど）
5	②特徴あるリズムや響きを表現しよう			
6	③楽器を演奏しよう			
7				
9	曲に込められた思いを感じ取り、歌声や演奏で表現しよう ①歌詞を読んで気持ちを歌や身体表現で表現しよう	20 17	○表現：ゆかいに歩けば、もみじ、冬げしき、陽気なかじや にじ等 ○鑑賞：ユーモレスク、「水上の音楽」からアラホーンパイプ、ソーラン節等 ◆音階を意識して曲を聴き、メロディの流れを歌や身体で表現できる。 ◆季節の情景を思い浮かべながら、四季を表現した曲を鑑賞できる。 ○楽器演奏：キーボード、打楽器等	・日本と外国の音楽を聴き比べ、音楽の特徴を感じ取れるようにする ・作者の思いや曲の情景がつかみやすいよう、写真や映像を活用する ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える。
10	②オーケストラの音楽を味わおう			
11	③楽器を演奏しよう			
12	合奏をしよう ①知っている曲を演奏してみよう	20 16	○表現：J-POP ○鑑賞：歓びの歌、交響曲第9番等 ノルウェー舞曲第2番 ◆音の重なりやリズムの重なりをよく聴きながら、音の重なり心地よさを感じ、みんなで演奏する楽しさを感じることができる。 ○楽器演奏；和太鼓 鍵盤ハーモニカ リコーダー等	・聞き馴染みのあるカノンコードを使っている曲を聴かせることで循環コードに気付くようにする。
1	②みんなで違う楽器を合わせて演奏してみよう			
2				
3				

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や進度の調整を行います。

令和7 年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4年、5年																											
教科等名	体育		学習グループ	C(準ずる)																											
ねらい	<p>(知・技)各種の運動の行い方について知るとともに、個々に応じて必要な動きや技能を身に付ける。</p> <p>(思・判・表)簡単なルールを理解し、教員や友達を介し作戦を立てたり友達と協力したりできる。</p> <p>(主)各種運動の楽しさに触れ、進んで取り組もうとする。</p> <p>保健：健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>																														
担当教員	教員：佐藤 匠 多島 康美																														
年間授業時数	4年 35単位時間		5年 20単位時間																												
使用教科書	新しいほけん4年 5年(東京書籍)																														
月	単元(題材)名	指導時数		○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫																										
4	道具を使っての運動(授業参観発表)	4年	5年	○シュート型ゲーム ○ネット型ゲーム ◆自分のチームが分かる。シュートできる力加減やタイミングを覚え、ゲームを行う。	・個々の課題に応じた道具を使用したり介助したりする。																										
5		10	5			6	水泳(実施できない場合体づくり運動)	7	5	○水遊び(水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど) ○浮く(背浮き、伏し浮き、けのびなど) ○泳ぐ(補助具を使ってキックやストローク等) ◆水に慣れ、リラックスするとともに水中で意欲的に身体を動かす。	・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。 ・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。	7	9	10	表現	7	3	○ダンス(しかもと音頭、よっちょれ等) ◆振付を覚えて、一人で踊ることができる。	・ダンスの振付を、写真やイラスト、動画等を用意し、視覚的に分かりやすくする。	11	12	サーキット走陸上	7	3	○サーキット走 ○30m走 ○リレー ◆ダイナミックに腕や足を動かすことを意識して走ったり身体を動かしたりする。	・タイムを計測したり、友達と競ったりするなど、自分のスピードの変化を意識できるようにする。	1	2	3	保健	4
6	水泳(実施できない場合体づくり運動)	7	5	○水遊び(水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど) ○浮く(背浮き、伏し浮き、けのびなど) ○泳ぐ(補助具を使ってキックやストローク等) ◆水に慣れ、リラックスするとともに水中で意欲的に身体を動かす。	・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。 ・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。																										
7																															
9																															
10	表現	7	3	○ダンス(しかもと音頭、よっちょれ等) ◆振付を覚えて、一人で踊ることができる。	・ダンスの振付を、写真やイラスト、動画等を用意し、視覚的に分かりやすくする。																										
11																															
12	サーキット走陸上	7	3	○サーキット走 ○30m走 ○リレー ◆ダイナミックに腕や足を動かすことを意識して走ったり身体を動かしたりする。	・タイムを計測したり、友達と競ったりするなど、自分のスピードの変化を意識できるようにする。																										
1																															
2																															
3	保健	4	4	○健康な生活、身体の発育・発達 ◆心や身体の健康に関心をもつ。	・イラストや映像を活用し、興味関心を高める。																										

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4・5年	
教科等名	総合的な学習の時間	教育課程	C (準ずる)	
ねらい	<p>(知・技)自分たちの住む地域の特徴について具体的な事実に触れ、自分の暮らしとつながりや関わりに気付く。</p> <p>(思・判・表)知りたいと思った情報を、図書館資料やインターネット、インタビュー等で調べ、伝えたいことをまとめる。</p> <p>(主)課題を解決するために主体的に取り組む。</p>			
担当教員	教員：多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数	70単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	話し合っ て気持ち よい環境 をつくろう	20	○どのような環境がよいか考えよう。	<p>活動内容を児童が話し合いを通して決めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気を付けながら学習できるような環境設定をする。</li> <li>・図や写真等、視覚教材を用いて理解を深める。</li> <li>・計画を立て、安全に気を付けて外出するようにする。</li> <li>・安全に気を付けながら調理の経験ができるようにする。</li> <li>・他学部の教員とも連携し、授業計画を綿密に立てる。</li> <li>・今後、自分がどのような力をつけたいかを考えるきっかけを作る。</li> <li>・中学生になったことを想像しながら見学するようにする。</li> </ul>
5			○話し合おう	
6	作戦を考 えてゲー ムを楽し もう	20	◆友達同士で話し合いながら計画を進める力を養う。	
7			◆互いに意見を出し合い、児童が主体の話し合いができるようになる。	
9			○ルールのあるゲームを楽しむ	
10	町の安全 点検買 い物学 習地域 に出よう	30	◆地域に出る体験をする	
11			○学校周辺の安全についての調べ学習を行い、発表し合う。	
12			○近隣の図書館に行き、本の貸し出しを体験する。	
1	防災や地 球環境 について 知ろう	20	○近隣のスーパー等で買い物をする。	
2			○防災や地球環境についての調べ学習を行う	
3	◆防災や地球環境についての調べ学習を通して理解を深める。			
1	一緒に作 って食 べよう2	20	○調理学習	
2			◆調理に見通しをもち、友達と協力して活動する	
3	学習発表 会をし よう	20	○学習発表会をしよう	
3			◆小学部から高等部の学習グループで集まり、互いに教え合うことで意欲を高める。	
			○調理学習	
			◆調理に見通しをもち、友達と協力して活動する。	

	<p>先輩に学ぼう</p> <p>自分の進路を考えよう</p> <p>中学部の授業を見学しよう</p>		<p>○自分の進路のイメージづくり</p> <p>◆進学や就職のためにどのような準備が必要なのか、具体的に考える。</p> <p>◆様々な職業があることを知り、進路選択の幅を広げる。</p> <p>○中学部授業見学</p> <p>◆中学部の先輩の姿を見ることで、比較的近い将来の自分の進路をイメージする。</p>	
--	---	--	--	--

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や、進度の調整を行います。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部	学 年		4年
教科等名	特別活動	学 年		A (自立) B (知的代替) C (準ずる)
ねらい	(知・技) 集団の活動の中で、学年の友達や他学年の友達に意識を向ける。 (思・判・表) 児童の交流の機会を通して、帰属意識や信頼関係を養い、集団で楽しく活動する経験を積み重ね、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む態度を養う。			
担当教員	教員：上原 千穂 望月 稔也 阿部 華子 生井 恭子 佐藤 匠 CG：阿部 由香梨 伊藤 方美 金子 祐子 田村 千恵			
年間授業時数	37 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	始業式 自己紹介 新入生歓迎会	11	○各行事 ・新入生歓迎会、始業式、終業式等 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年活動(他学部・他学年交流を含む) ・教職員紹介、交流遊び、簡単なゲームや歌 ◆歌やゲーム、交流を通して、集団での活動の雰囲気や挨拶、ルールについて知る。	・学習グループの異なる児童同士が関わることに主軸を置いた内容を設定する。 ・学校行事の特質を生かし、特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
5	学年の時間 鹿本小学校交流 クラブ活動			
6	他学年交流 N小4との交流			
7	終業式			
9	始業式 虹輝祭 学年の時間	13	○各行事 ・虹輝祭、鹿本小学校交流、終業式等 ◆虹輝祭は学習の成果を発表し、他学年他学部の発表を見たり、作品を鑑賞したりする ◆他校の児童との交流を深める。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間(他学部・他学年交流を含む) ・季節を感じる遊び、簡単なゲームや歌等 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	・準ずる教育課程の児童の役割を明確にし、教育課程の異なる児童の集団でのねらいを設定していく。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
10	鹿本小学校交流 クラブ活動			
11	他学年交流 N小4との交流			
12	終業式			
1	始業式 6年生を送る会 学年の時間	13	○各行事 ・6年生を送る会、始業式、修了式 ◆学期の始まりや学年の終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間(他学部・他学年交流を含む) ・冬の遊び、進級に向けて1年の振り返り ◆4年生のまとめや振り返りを通して、自分や友達の成長を知るとともに、次年度への期待感をもつ。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	・児童が見通しをもち、安心して参加できるよう視聴覚教材や身体活動を伴う教材を準備する。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
2	鹿本小学校交流 クラブ活動			
3	他学年交流 N小4との交流 修了式			

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年		4年 5年	
教科等名		道徳		学習グループ(教育課程)		C(準ずる)	
ねらい		(知・技) 善悪の判断や誠実な心を養う。また、節度ある生活で、個性を伸ばす。 (思:判・表) 周囲の人との関わりの中で、親切心や感謝の気持ちをもつ。 (主) 社会や集団の関わりの中で、道徳的な判断力を育てる。					
担当教員		教員: 多島 康美 佐藤 匠					
年間授業時数		38 単位時間					
使用教科書		小学 どうとく ゆたかな心 4年 5年 (光文)					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導の工夫	
4	友情、信頼	3	○友情 信頼 ◆お互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を育てる。			・絵本等を活用し、イメージしやすいようにする。	
5	自然愛護	4	○自然愛護 ◆植物の不思議さを感じ取り、身の回りの植物を大切にしようとする。			・ワークシートを使って、自分のことを振り返られるようにする。	
6	生命の尊さ	7	○いのちのまつり、いただきます ◆自分の生命と他の生命とのつながりが分かり、生命を大切にしようとする。			・飼育の経験を通して感じたことと結び付けた発問をする。	
7	国や郷土を愛する態度	3	○郷土愛 ◆郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に参加しようとする心情を育む。 ○自分らしさ			・日本の昔遊びや海外の人と触れ合う経験を設ける。	
9	個性の伸長	3	◆自分自身の特徴に気づき、光り輝く特長にしていこうとする。			・ロールプレイングを設定し、物語の役になりきる場面を作り、具体的に考えられるようにする。	
10	規則の尊重	4	○みんなで作ろう! ルールブック ◆約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。			・自分のことや家族のことを振り返るワークシートを使用し、整理できるようにする。	
11	家族愛、家庭生活の充実	3	○家族愛 ◆家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。			・具体的な場面を設定して演じてみる。	
12	礼儀	3	○生きたれいぎ ◆礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。			・心情理解の学習を国語の学習と結びつ付ける。	
1	感謝	3	○ありがとうの心 ◆高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。			・状況がイメージしにくい内容や、映像資料が有効と思われる場合には、適宜視聴覚機材を活用する。	
2	公正、公平	3	○お日さまの心で ◆誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平に接しようとする。				
3	国際理解、国際親善	2	○世界を知ろう ◆他国の人々の生活や文化を理解し、大切にしていこうとする。				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年	
教科等名	国語		学習グループ	C (準ずる)	
ねらい	<p>(知・技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。                  (思・判・表) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。                  (主) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>				
担当教員	教員：佐藤 匠 多島 康美				
年間授業時数	単位時間 259時間				
使用教科書	新しい国語4上下 (東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
4	もしも、こんなことができるなら	90	○対話をする。 ◆互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやりとりを続けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかお題を用意し、その中から話すようにする。</li> <li>・役割音読を行い、登場人物の気持ちを理解できるようにする。</li> <li>・段落に注目して文章の組み立てが分かるようにする。</li> </ul>	
	こわれた千の楽器		○物語を読んで想像したことを音読で表現する。 ◆登場人物の様子や気持ちを想像し、想像したことを音読で表現することができる。		
ヤドカリとイソギンチャク	○文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。 ◆ヤドカリとイソギンチャクの関係を伝えるために、筆者がどのように文章を組み立てているのかを考えることができる。				
5	じょうほうのとびら引用する		○適切に引用して文章を書く。 ◆引用の仕方やルールについて理解して、学んだことを生かしながら文や文章を書こうとしている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことと自分の考えが混同しないように分けてまとめる。</li> <li>・調べ学習と連携して学習を進める。</li> </ul>
	わたしのクラスの「生き物図かん」		○調べて考えたことをリーフレットにまとめる。 ◆段落どうしのまとまりを考えて、リーフレットを作ることができる。		
6	走れ		○物語を読み、登場人物の気持ちの変化について考えたことを伝え合う。 ◆物語の山場で、何がどのように変化したかを考え、考えたことを話し合うことができる。		
	山場のある物語を書こう		○物語を作るなど、感じたことや想像したことを書く。 ◆組み立てを工夫して、山場のある物語を書くことができる。		
7	ローマ字の書き方		◆ローマ字による日本語の音の表し方や二通りの書き方を理解し、ローマ字を読んだり書いたりすることができる。		
	広告を読みくらべよう		○二つの広告を読み比べて考えたことを伝える。 ◆二つの広告を読み比べて表し方の工夫を読み取り、なぜ違いがあるのかを考えることができる。		
9	詩を読もう	○詩を読み、考えたことを伝え合う。 ◆詩を読んで感想や考えを持ち、豊かに音読することができる。			
	お願いやお礼の手紙を書こう	○相手や目的に応じた手紙を書く。 ◆相手や目的を考えて、お願いやお礼の手紙を書			

10	ことわざ・故事成語 を使おう  文の組み立てと修飾語 一つの花	100	くことができる。 ○調べたことや教えたことをカードにまとめる。 ◆ことわざや故事成語について意味や使い方を理解し、文や文章を書くことができる。 ◆主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えることができる。 ○物語を読み、題名の持つ意味について考えたことを伝え合う。 ◆だじな言葉に着目し、「一つの花」という題名の意味について考えたことを伝え合うことができる。 ○文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。 ◆自分の考える和室と洋室のよさについて、書かれていることの要約を用いて紹介することができる。 ○身の回りの出来事を話す。 ◆身の回りの出来事と自分の気持ちが聞く人に伝わるように、工夫して話すことができる。 ○物語を読み、考えたことを伝え合う。 ◆登場人物の気持ちは、どのように変化したのか、また、それはなぜなのかを想像して伝え合うことができる。
11	くらしの中の和と洋		○言葉の意味について説明したり、考えたことを文章にまとめたりする。 ◆複数の意味を持つ言葉があることを理解し、意味を考えて文の中で使うことができる。 ○文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。 ◆日本語の教え方に対する筆者の考えを捉えて、自分の考えを広げることができる。 ○考えの理由を吟味しながら文や文章を書く。 ◆考えの理由を吟味することについて理解し、話や文章を書くことができる。 ○考えの理由を吟味して、分かりやすく伝える。 ◆理由を吟味しながら、自分の考えを書くことができる。
12	聞いてほしいな、こんな出来事  ごんぎつね		○調べたことを話す。 ◆身の回りのことについてグループでアンケートを行い、調べたことを分かりやすく報告することができる。 ○物語を読み、考えたことを伝え合う。 ◆物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。 ○伝えたいことを手紙にする。 ◆十年後の自分に向けて、今の自分のことを伝える手紙を書くことができる。
1	言葉の意味と使い方  教え方を生み出そう	69	○調べたことを話す。 ◆身の回りのことについてグループでアンケートを行い、調べたことを分かりやすく報告することができる。 ○物語を読み、考えたことを伝え合う。 ◆物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。 ○伝えたいことを手紙にする。 ◆十年後の自分に向けて、今の自分のことを伝える手紙を書くことができる。
2	じょうほうのとびら 理由をぎんみする  自分なら、どちらを選ぶか  調べたことをほうくしよう		○調べたことを話す。 ◆身の回りのことについてグループでアンケートを行い、調べたことを分かりやすく報告することができる。 ○物語を読み、考えたことを伝え合う。 ◆物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。 ○伝えたいことを手紙にする。 ◆十年後の自分に向けて、今の自分のことを伝える手紙を書くことができる。
3	世界一美しいぼくの村  十年後のわたしへ		○調べたことを話す。 ◆身の回りのことについてグループでアンケートを行い、調べたことを分かりやすく報告することができる。 ○物語を読み、考えたことを伝え合う。 ◆物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。 ○伝えたいことを手紙にする。 ◆十年後の自分に向けて、今の自分のことを伝える手紙を書くことができる。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4年
教科等名	社会		教育課程	C (準ずる)
ねらい	(知・技)わたしたちが暮らすまちや区の特徴について調べることができる。 (思・判・表)地域の販売や生産に関する仕事を調べ、わたしたちの生活との関連を考え、まとめることができる。 (主)地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事について知ろうとする。			
担当教員	教員：佐藤 匠			
年間授業時数	90単位時間			
使用教科書	新編 新しい社会 (東京書籍) 私たちの東京都 (明治図書)			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	わたしたちの 県	30	○わたしたちの東京都の様子 ○都道府県を調べよう ～東京都の様子～ ◆自分たちの都道府県の地理的環境の概要を理解している。	・日本地図パズルや都道府県調べなどを通して、概要を理解できるようにする。
5	住みよいくらしをつくる		○住みよいくらしをつくる ○水はどこから ○ごみの処理と再利用 ◆水道を供給する仕組みについて理解する。 ◆ごみを処理する仕組みについて理解する。	・水道キャラバンなどを活用していく。
6			自然災害からくらしを守る	○自然災害から人々を守る ○水害からくらしを守る ◆地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えることができる。 ◆市や県、国の水害に備える取り組みを調べることができる。
7	きょう土の伝統・文化と先人たち	○東京都の伝統や文化、東京都の発展につくした人 ○受けつがれる祭り ～武蔵府中くらやみ祭～ ○とどけよう命の水 ～玉川兄弟と玉川上水の開発～ ◆東京都内の伝統や文化について調べることができる。 ◆主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。		・調べたことをまとめ、発表する機会を設ける。
9		特色ある地いきと人々のくらし	○東京都の特色ある地域の様子 ○染め物のさかんな新宿区 ○世界とつながる大田区 ○ゆたかな自然を守り生かす小笠原村 ◆人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	
10				
11				
12				
1				
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年
教科等名	算数		学習グループ	C (準ずる)
ねらい	<p>(知・技) 小数及び分数の意味と表し方, 四則の関係, 平面図形と立体図形, 面積, 角の大きさ, 折れ線グラフなどについて理解するとともに, 整数, 小数及び分数の計算をしたり, 図形を構成したり, 図形の面積や角の大きさを求めたり, 表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思・判・表) 数とその表現や数量の関係に着目し, 目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力, 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し, 図形の性質や図形の計量について考察する力, 伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し, 変化や対応の特徴を見いだして, 二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力, 目的に応じてデータを収集し, データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し, それらを用いて問題解決したり, 解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。</p> <p>(主) 数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度, 数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	教員: 多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数	196 単位時間			
使用教科書	わくわく算数4上下 (啓林館)			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	算数のとびら 一億をこえる数 折れ線グラフ	55	○10 や 100 を単位にしたわり算 ◆10 や 100 を単位にしたわり算の計算ができる。 ○大きな数の仕組み ◆手際よく大きな数の計算をすることができる。 ○折れ線グラフと棒グラフが重なったグラフのよみ方 ◆2 つのグラフを関連づけて, どんなことがわかるかを考えたり説明したりしている。	・視覚的教材を用意する。 ・位取り表を活用する。 ・棒グラフの復習を行い, 折れ線グラフについて学習する。 ・わる数やわるる数について色などで分けて理解しやすくする。
5	1 けたでわるわり算の筆算		○(2 桁)÷(1 桁)で商が2 桁になる筆算 (余りあり) ◆余りのある(2 位数)÷(1 位数)の筆算の仕方を考えたり説明したりしている。	・三角定規の角に色シールを貼る。
6	角とその大きさ 垂直・平行と四角形		○三角定規の角の大きさ, 角の大きさの加減 ◆三角定規の角の大きさについて理解している。 ○長方形や正方形の作図, 台形と平行四辺形の定義 ◆辺の平行に着目すればよいことに気づき, いろいろな四角形を仲間分けしようとしている。	・三角定規に滑り止めシールを貼り, 一人でも操作できるようにする。
7	小 数 2 けたでわるわり算の筆算		○1/100 の位までの小数の加法や減法の筆算 ◆数の加法的な見方や相対的な見方を働かせて, 小数のたし算やひき算の仕方を考えたり説明したりしている。 ○(3 桁)÷(2 桁)で商が2 桁になる筆算 ◆数が大きくなっても, これまでと同じ手順で筆算すればよいことに気づいている。	・数直線などを用いて数の概念が分かるようにする。 ・立てる, かける, ひく, おろすの手順を理解し, 取り組めるようにする。

9	式と計算の順 じょ	80	○分配法則など計算のきまりを使った計算の工夫 ◆計算のきまりを使って計算の工夫の仕方を考えたり説明したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先に計算するところに下線を引くように指導する。</li> <li>・図に書いて、割合の意味が分かるようにする。</li> <li>・<math>1\text{cm}^2</math>の正方形を敷き詰める活動を行い、計算の仕方に気付けるようにする。</li> </ul>
	割合		○2つの数量の割合の比較、割合の定義 ◆割合について知り、割合を使って数量の関係が比較できることを理解している。	
10	面積		○長方形、正方形の面積の求め方と公式 ◆辺の長さともとの正方形の数の関係に着目して、長方形や正方形の面積の求め方を考えたり説明したりしている。	
	面積		○概数の表す範囲、以上、未満、以下の定義 ◆四捨五入の仕方をもとに、概数から実際の数量の範囲を考えたり説明したりしている。	
11	がい数とその 計算	61	○(小数) $\times$ (2位数)の筆算、(小数) $\div$ (2位数)の筆算 ◆(小数) $\times$ (2位数)の筆算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。(小数) $\div$ (2位数)の筆算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を用いる。概数の良さを感じられるようにする。</li> <li>・既習事項をもとに計算の仕方を考えられるようにする。</li> </ul>
12	小数のかけ算 とわり算		○2つの観点について調べて二次元の表にまとめる、表のかき方 ◆二次元の表をよみ取り、資料の特徴や傾向を考えたり話し合ったりしている。	
	小数のかけ算 とわり算		○整数、帯分数の入った加法・減法の計算 ◆帯分数を仮分数に直したり、帯分数を整数と真分数に分解したりして加減計算の仕方を考えたり説明したりしている。	
1	調べ方と整理 のしかた	2	○2量の関係を表にかいて変化の様子を調べ、きまりを使って問題を解決する ◆数量の関係を表に整理するよさに気づき、テーブルと人数を表に整理してきまりを見いだそうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数えた資料には印を付けるようにする。</li> <li>・「1」の概念を基本に置きながら、数直線等を使って量感を掴めるようにする。</li> </ul>
	調べ方と整理 のしかた		○2量の関係を表にかいて変化の様子を調べ、きまりを使って問題を解決する ◆数量の関係を表に整理するよさに気づき、テーブルと人数を表に整理してきまりを見いだそうとしている。	
2	変わり方	3	○直方体、立方体の展開図 ◆立方体の展開図をかいたり、組み立てたときに重なる辺や頂点を見つけたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表を使い、増え方等の決まりを見付けられるようにする。</li> </ul>
	変わり方		○直方体、立方体の展開図 ◆立方体の展開図をかいたり、組み立てたときに重なる辺や頂点を見つけたりすることができる。	
3	直方体と立方 体		○復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱を展開する活動を行う。色を付けるなどして重なりを理解できるようにする。</li> </ul>
	もうすぐ5年 生			

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4年 5年	
教科等名	自立活動	学習グループ(教育課程)	C(準ずる)	
ねらい	<p>(知・技) 日常生活に必要な体力を身に付ける。                  (思・判・表) 自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。                  (主) 介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。</p>			
担当教員	教師：多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数	70単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。  丁寧な言葉遣いで話そう。	25	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆日常生活に必要な動作の仕方を覚え、練習する。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り、見通しをもって取り組めるようにする。 ・身体の使い方を児童がイメージできるように、動かし方のポイントなどを助言する。
5				
6				
7				
9	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。  丁寧な言葉遣いで話そう。	25	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、日常動作の練習、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆日常生活に必要な動作の仕方を練習する。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り見通しをもって取り組めるようにする。 ・意欲的に取り組めるように、ゲームの要素などを取り入れる。
10				
11				
12				
1	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。  丁寧な言葉遣	20	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、日常動作の練習、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆移動に関する身体の動かし方を覚え、行う。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い	・自立活動担当の教員と相談しながら取り 取り組む。 ・身体の使い方を児童がイメージできるように、動かし方のポイントなどを助言
2				
3				

	いで話そう。		方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	する。 ・鏡を使い、自分の身体の様子を確認しながら取り組めるようにする。
--	--------	--	--	---

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や進度の調整を行います。